

おはようございます。今日は雨、しっとりとしています。
朝方は寒さを感じるくらい、涼しかったです。

この校長室日記も、今日で400話という節目を迎えました。第1話は平成31年4月16日「想いをカタチに」でスタートしました。校長として本校に着任して以来、今年度が3年目を迎えていますが、コツコツと綴ってきた積み重ねが「400」となりました。

私は、こうした日記や通信などを書くことが、内容は上手ではないのですが、何かを伝えたいとの想いをあらわすこととして、教員になってから良く行って来ました。

40代中盤に3学年主任をさせていただいた頃は、A4サイズ1枚の学年通信「ありがとう」を毎日発行し、こどもの良いところや素敵なお話を発見しては、文章に表していました。そうした文を読んで、うれしそうに会話にやってくる生徒たちの姿や表情が、本当に元気を与えてくれたことがなつかしく思い出されます。

昨年の同日、10月6日の校長室日記を見ると、話題が「謙虚さを忘れずに」となっていました。今一度読み返してみて、文章表現の拙さは相も変わらずといったところなのですが、自分の教育観を考える判断基準の1つにはなるかなと思います。

400話は通過点。明日からも、良いところ、素敵なお話、素晴らしいところを数多く見つけて行きたいと思います。

「 いいワインのほうが
若いうちはちょっとゴツゴツしてて、
飲みづらくて、
寝かせば寝かすほど、
段々段々まろやかに
柔らかくなってくる。 」 (田崎真也　：ソムリエ)